

# ごみ収集方法についての アンケート調査の結果

市民環境部 環境課

## 【 ごみ収集方法についてのアンケート調査概要 】

目 的	今後の廃棄物行政の基礎資料とする
対 象 者	無作為抽出による
対 象 者 数	2, 000名
調 査 方 法	郵便調査法、無記名アンケート質問用紙による回答、郵便により返送
調 査 期 間	平成25年6月10日（月）から6月24日（月）まで
質 問 数	14問

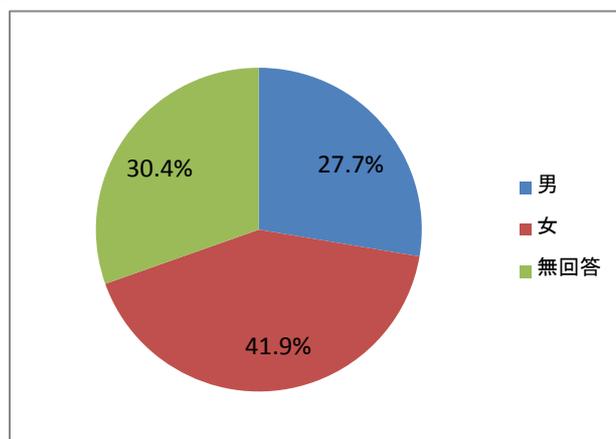
## 【 回答状況 】

対 象 者 数	2, 000 名
回 答 数	969 名
返 戻	9 名
回 収 率	48. 67 %（到着数に対して）

## 【A】 性別

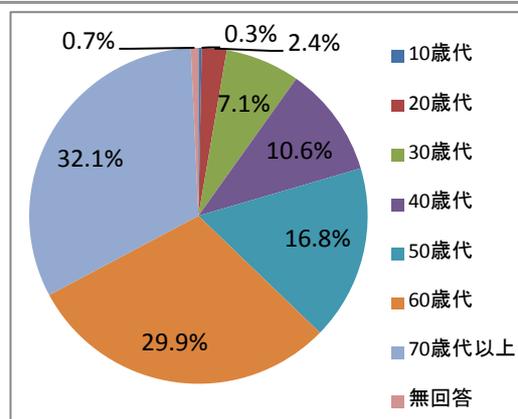
回答項目	回答数	割合
男	268	27.7%
女	406	41.9%
無回答	295	30.4%
合計	969	100.0%

回答は女性の方が多く結果となっています。  
無回答のケースは、家族と相談しながら記入されたため、性別の記入ができなかったものと考えられます。



## 【B】 年齢

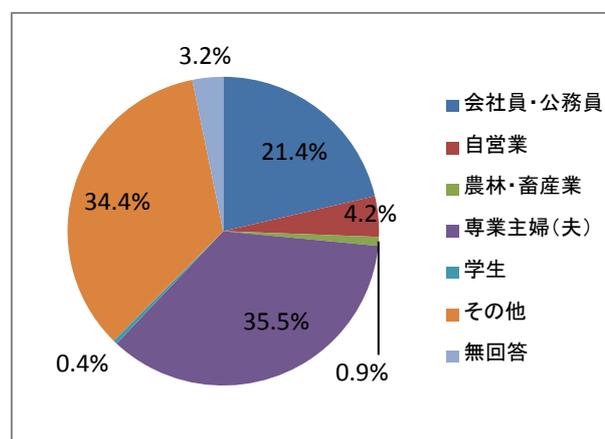
回答項目	回答数	割合
10歳代	3	0.3%
20歳代	23	2.4%
30歳代	69	7.1%
40歳代	103	10.6%
50歳代	163	16.8%
60歳代	290	29.9%
70歳代以上	311	32.1%
無回答	7	0.7%
合計	969	100.0%



70歳代以上の回答が最も多く、60歳代、70歳以上を合わせると62.0%となっており、10歳代が最も低い結果となっています。世帯単位で発送を行っていることも原因ですが、北広島市の人口構成と比較すると回答者の割合は高齢世代が非常に高くなっています。

## 【C】 職業

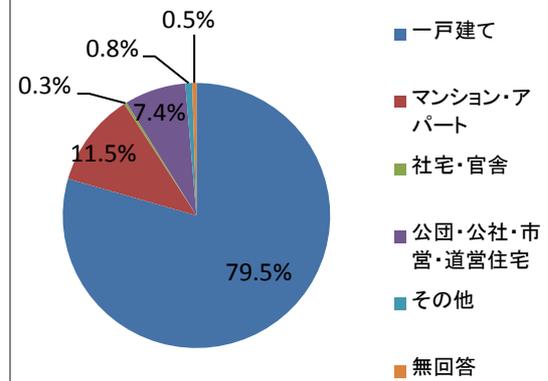
回答項目	回答数	割合
会社員・公務員	207	21.4%
自営業	41	4.2%
農林・畜産業	9	0.9%
専業主婦（夫）	344	35.5%
学生	4	0.4%
その他	333	34.4%
無回答	31	3.2%
合計	969	100.0%



専業主婦（夫）の回答が最も多く、次にその他、会社員・公務員が多い結果となりました。その他としては、無職、年金生活者等となっています。

【D】 居住形態

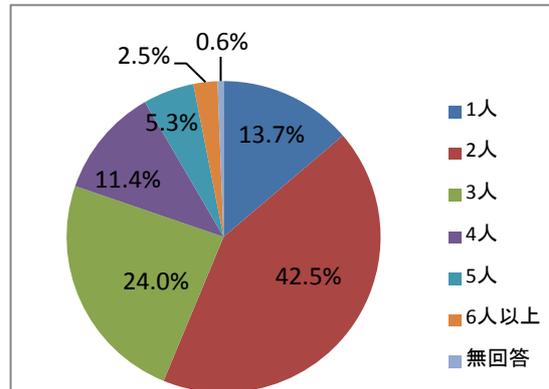
回答項目	回答数	割合
一戸建て	770	79.5%
マンション・アパート	111	11.5%
社宅・官舎	3	0.3%
公団・公社・市営・道営住宅	72	7.4%
その他	8	0.8%
無回答	5	0.5%
合計	969	100.0%



一戸建ての回答が最も多い結果となっています。

【E】 世帯人員

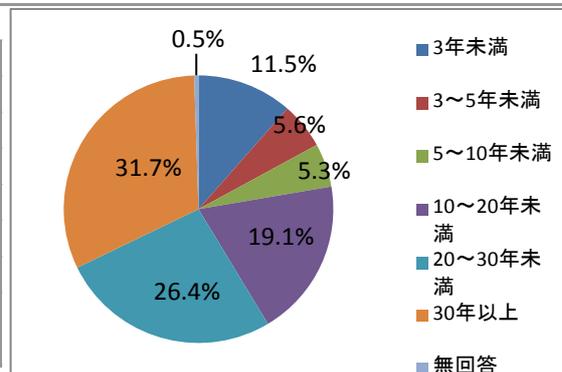
回答項目	回答数	割合
1人	133	13.7%
2人	412	42.5%
3人	233	24.0%
4人	110	11.4%
5人	51	5.3%
6人以上	24	2.5%
無回答	6	0.6%
合計	969	100.0%



世帯人員では2人の回答が最も多い結果となっています。

【F】 居住年数

回答項目	回答数	割合
3年未満	111	11.5%
3～5年未満	54	5.6%
5～10年未満	51	5.3%
10～20年未満	185	19.1%
20～30年未満	256	26.4%
30年以上	307	31.7%
無回答	5	0.5%
合計	969	100.0%

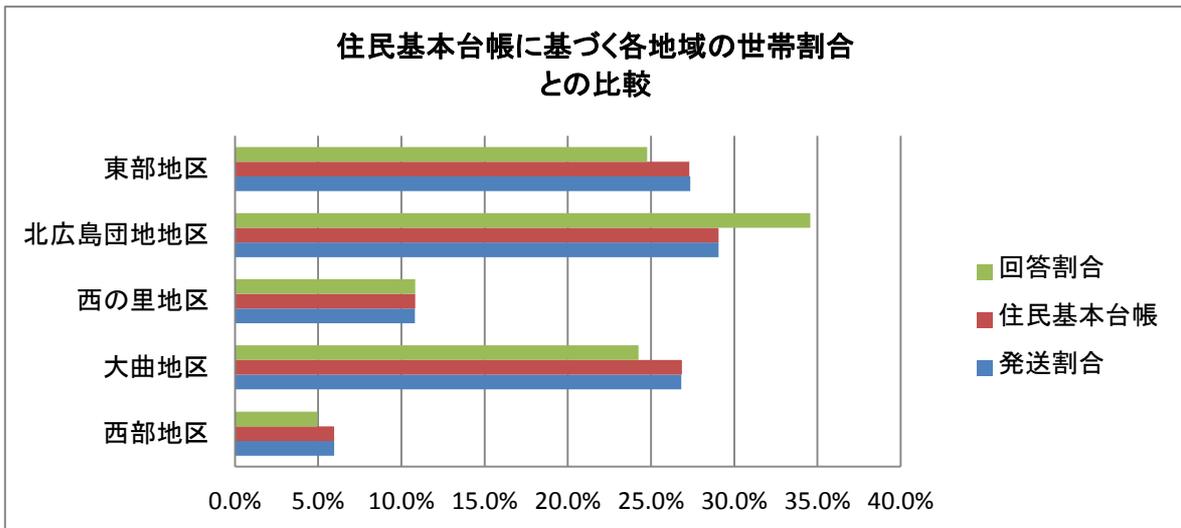
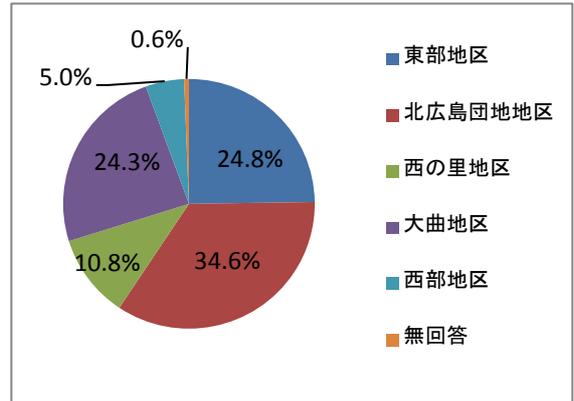


居住年数は30年以上が最も多く、次に20～30年未満の回答が多い結果となっています。

【G】 居住地域

回答項目	回答数	回答割合	発送割合	住民基本台帳	前回回答割合
東部地区	240	24.8%	27.4%	27.3%	19.6%
北広島団地地区	335	34.6%	29.1%	29.0%	37.9%
西の里地区	105	10.8%	10.8%	10.8%	11.1%
大曲地区	235	24.3%	26.8%	26.9%	25.7%
西部地区	48	5.0%	6.0%	6.0%	5.2%
無回答	6	0.6%	—	—	0.5%
合計	969	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

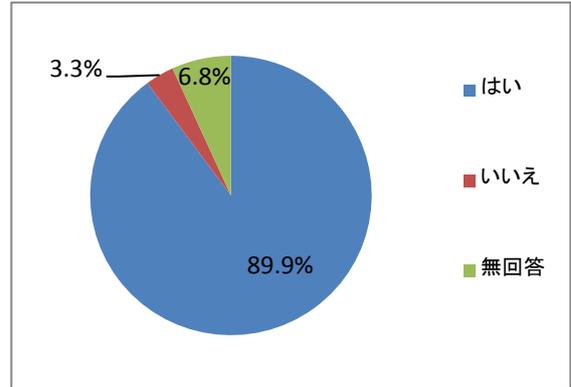
北広島団地地区からの回答数が多くなっていますが、アンケートの送付割合や平成25年5月末日の住民基本台帳に基づく各地域の世帯割合と比較しても極端な差はない結果となっています。



【問1】 ごみの分別の際に「クリーンタウンきたひろしま」を活用していますか。

No.	回答項目	回答数	割合
1	はい	871	89.9%
2	いいえ	32	3.3%
3	無回答	66	6.8%
合計		969	100.0%

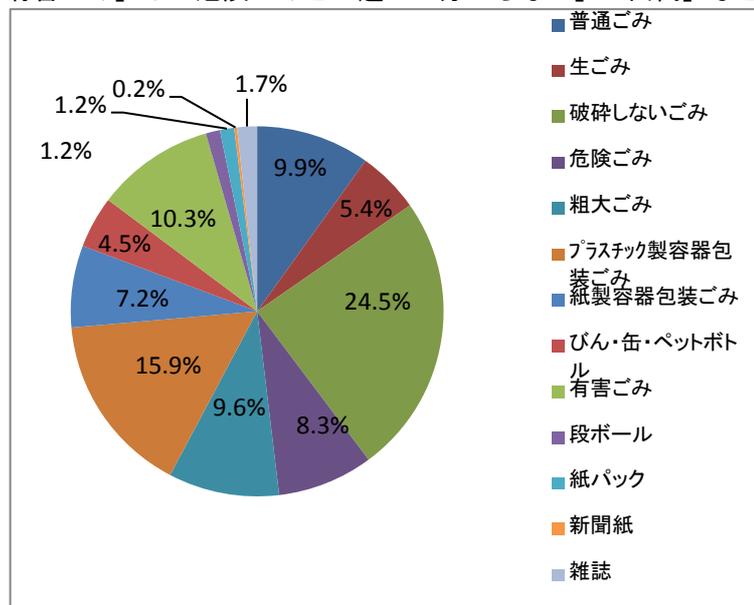
およそ9割の家庭で「クリーンタウンきたひろしま」は活用されていることが分かる結果となりました。



【問2】 ごみの分別で分かりづらいごみの種類は何ですか。  
ごみの種類を選んでください（複数回答可）

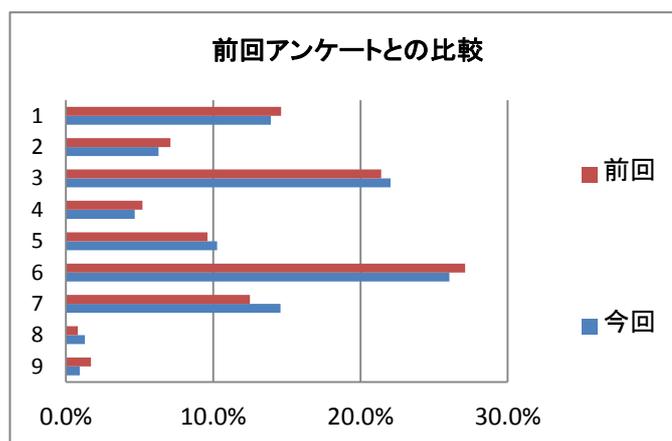
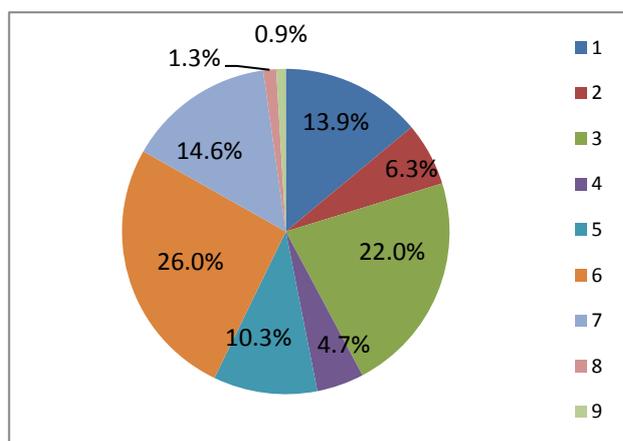
No.	回答項目	回答数	割合	前回アンケート結果
1	普通ごみ	120	9.9%	10.4%
2	生ごみ	66	5.4%	-
3	破碎しないごみ	298	24.5%	25.6%
4	危険ごみ	101	8.3%	10.3%
5	粗大ごみ	117	9.6%	11.6%
6	プラスチック製容器包装ごみ	193	15.9%	16.1%
7	紙製容器包装ごみ	87	7.2%	7.5%
8	びん・缶・ペットボトル	55	4.5%	4.4%
9	有害ごみ	125	10.3%	10.3%
10	段ボール	15	1.2%	0.6%
11	紙パック	15	1.2%	1.4%
12	新聞紙	3	0.2%	0.5%
13	雑誌	21	1.7%	1.4%
合計		1216	100.0%	100.1%

分かりづらいごみの種類として①破碎しないごみ、②プラスチック製容器包装ごみ、③有害ごみ、となっています。分かりづらい理由としては、「破碎しないごみ」は「分別が複雑」「普通ごみとの区別が分かりづらい」などで、「プラスチック製容器包装ごみ」は「汚れはどこまでいいのかわからない」「同じプラスチックでも資源でない」などで、「有害ごみ」は「危険ごみとの違いが分からない」「面倒」などとなっています。



【問3】 ごみとなるものを減らすためにどのような工夫をしていますか。（複数回答可）

No.	回答項目	回答数	割合	前回アンケート結果
1	不要なものを買わないように心がけている	403	13.9%	14.6%
2	使い捨ての商品をなるべく買わないようにしている	182	6.3%	7.1%
3	詰替え製品を買うようにしている	638	22.0%	21.4%
4	壊れにくく、長く使えるものを選ぶようにしている	135	4.7%	5.2%
5	食べ残しをできるだけ少なくなるようにしている	297	10.3%	9.6%
6	買物の際、買物袋を持参するようにしている	754	26.0%	27.1%
7	買物の際、過剰包装は断わるようにしている	422	14.6%	12.5%
8	特に工夫していない	37	1.3%	0.8%
9	その他	27	0.9%	1.7%
合計		2895	100.0%	100.0%

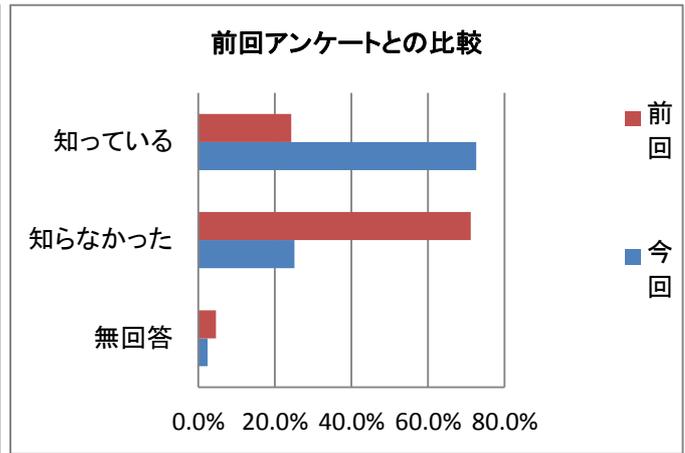
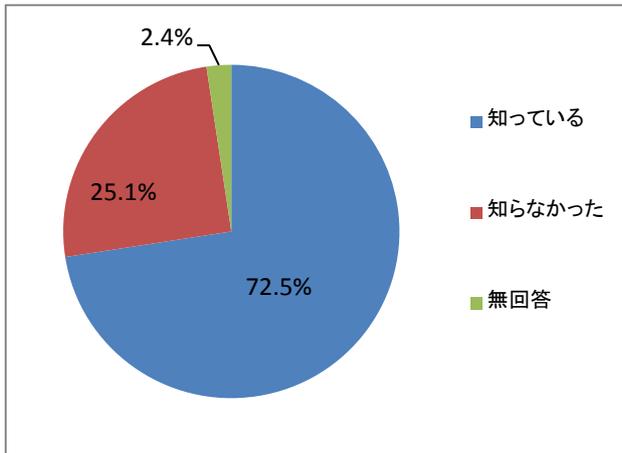


前回アンケート結果と同様に、今回のアンケートでも「買物の際、買物袋を持参するようにしている」が最も多い回答で、「詰替え製品を買うようにしている」は2番目に多い回答になりました。買い物袋の持参は、市内大手スーパーのレジ袋の有料化に起因しているものと思われます。

【問4】

北広島市では、最終処分場に埋め立てるごみを少しでも減らすために、ご家庭から出る「生ごみ」の中間処理（バイオガス化処理）を平成23年度から実施しています。このため、市民の皆さんに「生ごみ」を分別していただいています。この生ごみの分別、中間処理についてご存知でしたか。

No.	回答項目	回答数	割合	前回アンケート結果
1	知っている	703	72.5%	24.3%
2	知らなかった	243	25.1%	71.1%
3	無回答	23	2.4%	4.6%
合計		969	100.0%	100.0%



前回アンケート時には、生ごみのバイオガス化処理施設が稼働していなかった事もあり、実施されることを「知っている」が24.3%にすぎませんでした。今回アンケートでは実施後2年以上が経過し、実施されていることを「知っている」が72.5%にまで増加しています。市民の皆さまの間に、生ごみの分別、中間処理が浸透してきていることがわかりました。しかし、依然25.1%が知らないとの回答でした。参考のため、知らなかったとの回答された方の居住年数別の集計を以下の表のとおり抽出しました。

【居住年数別集計】

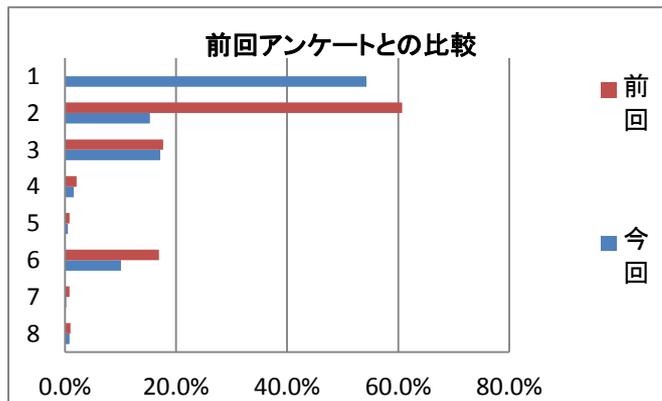
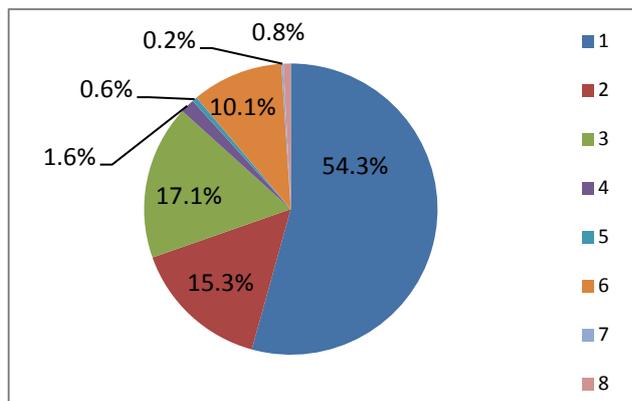
No.		知っている		知らなかった		合計
		回答数	割合	回答数	割合	
1	3年未満	55	50.9%	53	49.1%	100.0%
2	3～5年未満	34	64.2%	19	35.8%	100.0%
3	5～10年未満	38	77.6%	11	22.4%	100.0%
4	10～20年未満	133	73.1%	49	26.9%	100.0%
5	20～30年未満	192	76.8%	58	23.2%	100.0%
6	30年以上	246	82.3%	53	17.7%	100.0%
合計		698	-	243	-	-

居住年数が「3年未満」の方の49.1%が生ごみのバイオガス処理について知らなかったと回答しています。「3～5年未満」の方の35.8%が知らなかったと回答しており、居住年数の浅い方ほど生ごみのバイオガス化処理についてあまり知られていないとの結果が出ています。同様に、居住年数が長いほど概ね知っているという結果が出ており、理由としてはバイオガス処理施設稼働前後のPRを受ける機会が十分にあったことや北広島市に対する愛着が考えられます。今後は転居されてきた世帯に対して、今一度PRを行うことも必要かもしれません。

【問5】 ご家庭で「生ごみ」はどのように処理していますか。（複数回答可）

No.	回答項目	回答数	割合	前回アンケート結果
1	分別し、指定ごみ袋（黄色）で出している	684	54.3%	-
2	普通ごみとして出している	193	15.3%	60.7%
3	生ごみ堆肥化容器を利用している	216	17.1%	17.7%
4	電動生ごみ処理機を利用している	20	1.6%	2.1%
5	段ボール箱を利用した堆肥化を行っている	7	0.6%	0.8%
6	畑で堆肥化を行っている	127	10.1%	16.9%
7	ペットのえさにしている	3	0.2%	0.8%
8	その他	10	0.8%	1.0%
合計		1260	100.0%	100.0%

※前回アンケートには回答項目1はありませんでした。



「分別し、指定ごみ（黄色）で出している」という回答が最も多く54.3%、次いで「生ごみ堆肥化容器を利用している（17.1%）」が多い結果となっています。「普通ごみとして出している」という回答は15.3%となっており、依然分別をせず排出している方も一定割合いることがわかります。もっとも、本設問は複数回答形式であることから正確な回答者数に応じた内訳とはならないため、参考のため以下の表のとおり内訳を再編成しました。

【回答者数に応じて再編成したもの】

No.	回答項目	回答数	割合
1	生ごみは分別し、指定ごみ袋（黄色）で出している。生ごみを普通ごみとして出すということはない。	642	66.3%
2	生ごみは普通ごみで出している。分別して指定ごみ袋（黄色）で出すことはしない。	151	15.6%
3	生ごみは分別することもあるが、普通ごみとして出すこともあり、そのときどきで違う。	42	4.3%
4	ステーションに生ごみを出すことはない。ペットのえさにしたり畑やコンポストを利用した堆肥化等により自家処理している。	129	13.3%
5	無回答	5	0.5%
合計		969	100.0%

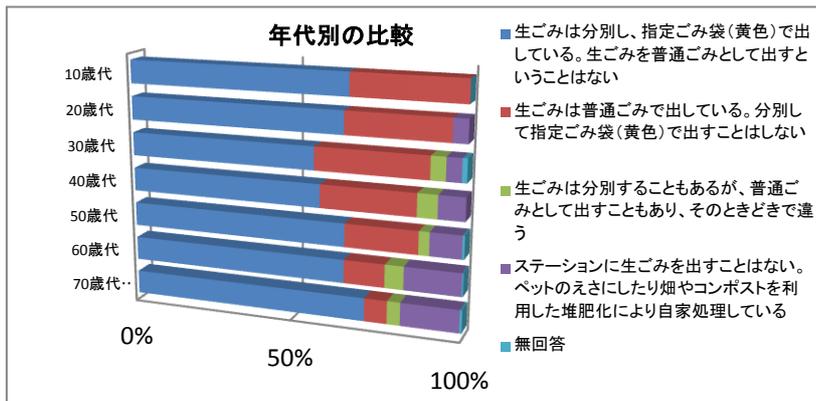
「生ごみは分別し、指定ごみ袋（黄色）で出している。生ごみを普通ごみとして出すということはない。」という回答が最も多く66.3%であり、次に多い「ステーションに生ごみを出すことはない。ペットのえさにしたり畑やコンポストを利用した堆肥化等により自家処理している。」という回答13.3%を合わせた理想的な方々は79.6%と全体の8割にも及んでいます。市民の皆さまの間に、生ごみの分別及び堆肥化等によるごみの減量化の取り組みが浸透してきているということが言えると思います。

「生ごみは分別することもあるが、普通ごみとして出すこともあり、そのときどきで違う。」とした回答は4.3%にすぎず、分別をする人は分別し、分別せず普通ごみとして出す人は全く分別をしないという傾向がうかがえます。今後は、全く分別を行わず生ごみを普通ごみとして出している15.6%の方々にどういった啓発を行っていくか検討をする必要があります。検討のため、問4における生ごみのバイオガス化処理について知っていたか否かについての集計との相関について次頁の表をまとめました。

No.		知っている		知らなかった		無回答	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	生ごみは分別し、指定ごみ袋（黄色）で出している。生ごみを普通ごみとして出すということはない。	474	67.4%	158	65.0%	10	43.5%
2	生ごみは普通ごみで出している。分別して指定ごみ（黄色）で出すことはしない。	97	13.8%	46	18.9%	8	34.8%
3	生ごみは分別することもあるが、普通ごみとして出すこともあり、そのときどきで違う。	30	4.3%	12	4.9%	0	0.0%
4	ステーションに生ごみを出すことはない。ペットのえさにしたり畑やコンポストを利用した堆肥化等により自家処理している。	101	14.4%	26	10.7%	2	8.7%
5	無回答	1	0.1%	1	0.4%	3	13.0%
合計		703	100.0%	243	100.0%	23	100.0%

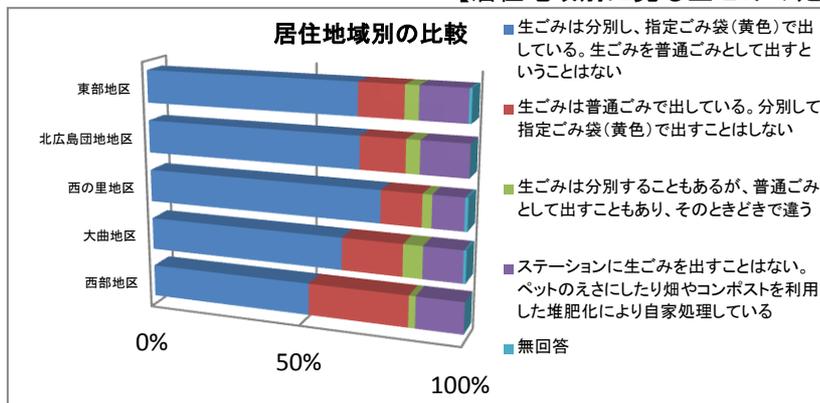
生ごみのバイオガス化処理について「知らなかった」と答えた方のほうが「知っている」と答えた方より「生ごみを普通ごみで出している。分別して指定ごみ（黄色）で出すことはない」とする割合が高いことがわかりましたが、その差はあまり大きくありません。生ごみをバイオガス化処理していることを知っているか否かは分別を行うか否かという行動に大きな影響は与えていないようです。

#### 【年代別に見る生ごみの処理】



年代別に見ると、「生ごみは普通ごみで出している。分別して指定ごみ袋（黄色）で出すことはしない」との回答は、10歳代で33.3%、20歳代で30.4%、30歳代で33.3%、40歳代で28.2%、50歳代で21.5%、60歳代で12.1%、70歳代以上で6.8%となっています。高齢世代になるにしたがって、分別をせず生ごみを普通ごみで出している方の割合は低下していることがわかります。同様に、高齢世代になるにつれて、畑やコンポスト等を使用して生ごみを全て自家処理をしているとの割合が増加しています。

#### 【居住地域別に見る生ごみの処理】



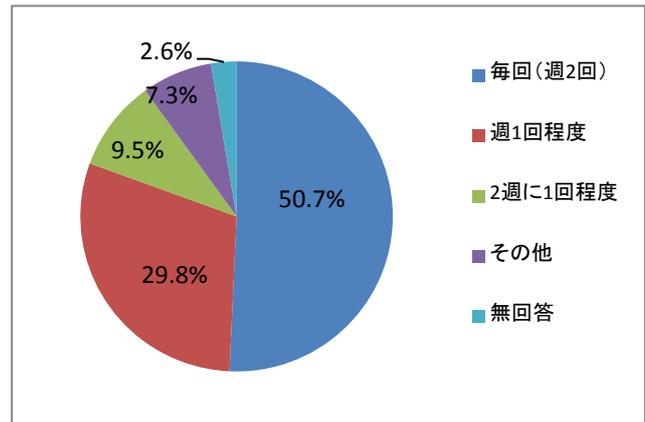
居住地域別に見ると、「生ごみは普通ごみで出している。分別して指定ごみ袋（黄色）で出すことはしない」との回答は、東部地区が13.8%、北広島団地地区が13.7%、西の里地区が12.4%、大曲地区が18.7%、西部地区が31.3%となっています。大曲地区と西部地区の分別が進んでいないことがわかります。

【問6】 生ごみをどれだけの回数で出されていますか。

※問5で回答項目1を回答された方のみ回答しています

No.	回答項目	回答数	割合
1	毎回（週2回）	347	50.7%
2	週1回程度	204	29.8%
3	2週に1回程度	65	9.5%
4	その他	50	7.3%
5	無回答	18	2.6%
合計		684	100.0%

週2回が50.7%と最も多く、次に週1回の29.8%でした。その他としては、「夏季は畑で堆肥化を行っており冬季は生ごみ堆肥化容器を利用していることから、生ごみをごみとして排出してはしない」等がありました。

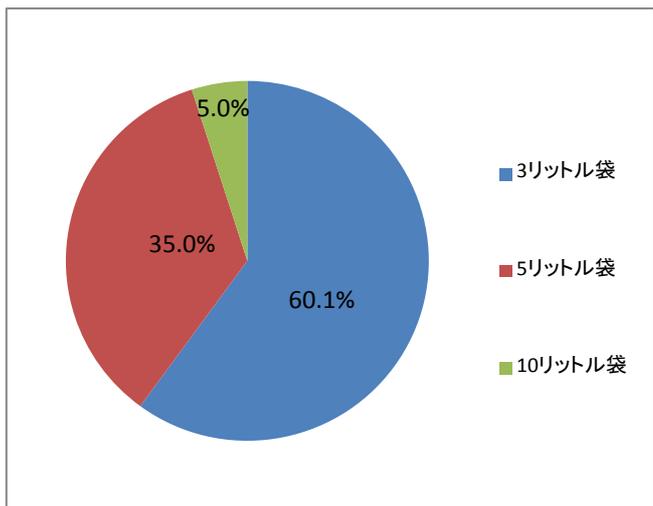


【問7】 生ごみを出すときに何リットルの指定ごみ袋を使っていますか。（複数回答可）

※問5で回答項目1を回答された方のみ回答しています

No.	回答項目	回答数	割合
1	3リットル袋	448	60.1%
2	5リットル袋	261	35.0%
3	10リットル袋	37	5.0%
合計		746	100.0%

3リットル、60.1%、5リットルで35.0%となっており、10リットル袋はあまり使用されていない状況となっています。

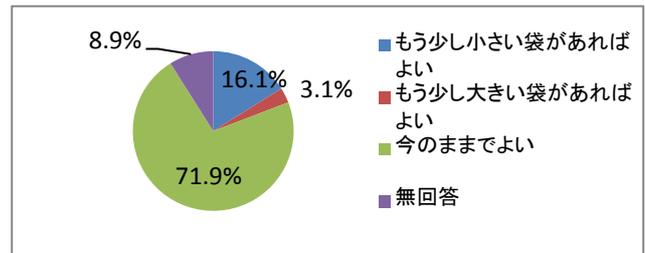


【問8】 「生ごみ」用の指定ごみ袋の大きさはいかがですか。

※問5で回答項目1を回答された方のみ回答しています

No.	回答項目	回答数	割合
1	もう少し小さい袋があればよい	110	16.1%
2	もう少し大きい袋があればよい	21	3.1%
3	今のままでよい	492	71.9%
4	無回答	61	8.9%
合計		684	100.0%

「今のままでよい」が71.9%と最も多い回答となっています。次に「もう少し小さい袋があればよい」となっています。参考のため、年代別の各回答項目の内訳を以下の表にまとめます。



	もう少し小さい袋があればよい		もう少し大きい袋があればよい		今のままでよい	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
10歳代	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%
20歳代	2	13.3%	0	0.0%	13	86.7%
30歳代	8	19.5%	0	0.0%	33	80.5%
40歳代	15	25.4%	4	6.8%	40	67.8%
50歳代	26	24.3%	5	4.7%	76	71.0%
60歳代	28	14.9%	8	4.3%	152	80.9%
70歳代以上	29	14.1%	3	1.5%	174	84.5%
無回答	2	40.0%	1	20.0%	2	40.0%
合計	110	-	21	-	492	-

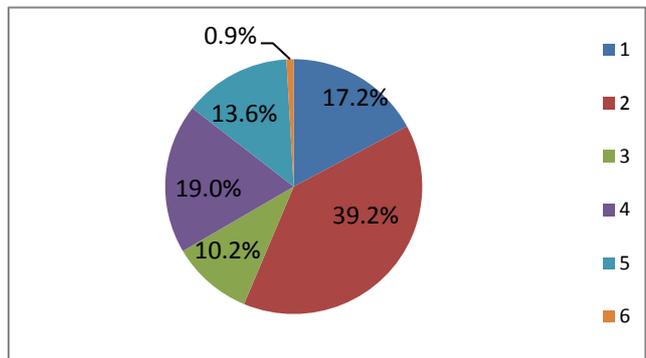
「もう少し小さい袋があればよい」との回答割合が40歳代で25.4%、50歳代で24.3%と比較的高い数値となっています。一方で、60歳代では14.9%、70歳代以上では14.1%とその割合は低くなっています。単身世帯の割合が増加する高齢世帯ほど小さい袋のニーズがあるとも考えられましたが、必ずしもそうとは限らないことがわかりました。

【問9】 生ごみを普通ごみとして出している理由はなぜですか。（複数回答可）

※問5で回答項目2を回答された方のみ回答しています

No.	回答項目	回答数	割合
1	生ごみを分別しても普通ごみと同じ手数料だから	57	17.2%
2	生ごみであっても出せない物があるから（卵の殻、貝殻、トウモロコシ、タケノコの皮）	130	39.2%
3	指定ごみ袋（黄色）の大きさがちょうどよいのがないから	34	10.2%
4	分別するのが面倒だから	63	19.0%
5	その他	45	13.6%
7	無回答	3	0.9%
合計		332	100.0%

「生ごみであっても出せない物があるから」が最も多く39.2%となっています。次に、「分別するのが面倒だから（19.0%）」「生ごみを分別しても普通ごみと同じ手数料だから（17.2%）」となっています。また、その他の意見として「収集日まで家庭で生ごみを保管するのが難しい」、「三角コーナーのネットに制限がある」などとなっています。



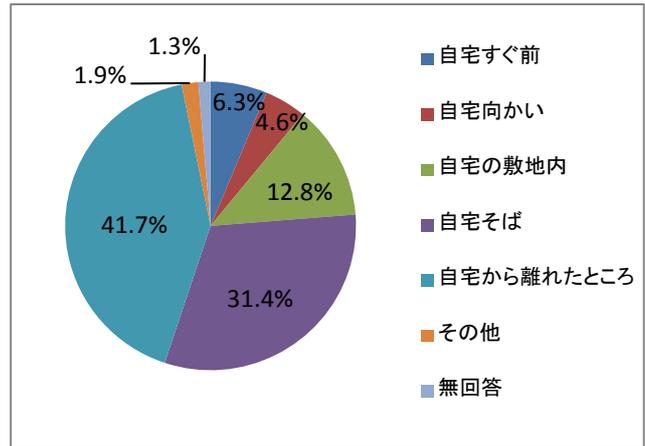
【問10】 あなたが利用しているごみステーションはどこにありますか。  
1つだけ選んでください。

No.	回答項目	回答数	割合	前回アンケート結果
1	自宅のすぐ前	61	6.3%	3.8%
2	自宅の向かい	45	4.6%	5.4%
3	自宅（アパート、マンション）の敷地内	124	12.8%	13.4%
4	自宅そば（1～3軒となり）	304	31.4%	32.1%
5	自宅から離れたところ（4軒以上離れている）	404	41.7%	42.0%
6	その他	18	1.9%	2.3%
7	無回答	13	1.3%	1.1%
合計		969	100.0%	100.0%

ごみステーションの位置については、「自宅から離れたところ（4軒以上離れている）」が最も多く、次いで「自宅そば（1～3軒となり）」「自宅（アパート、マンション）の敷地内」となっています。

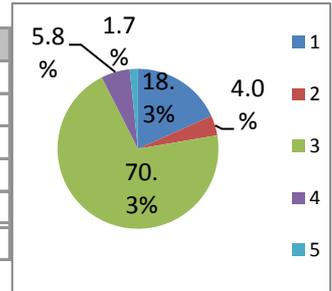
なお、平成24年度末のごみステーション数は1,009カ所であり、世帯数は26,359世帯ですので、約26世帯が1カ所のごみステーションを利用していることになります。

その他としては、「輪番制」などがありました。



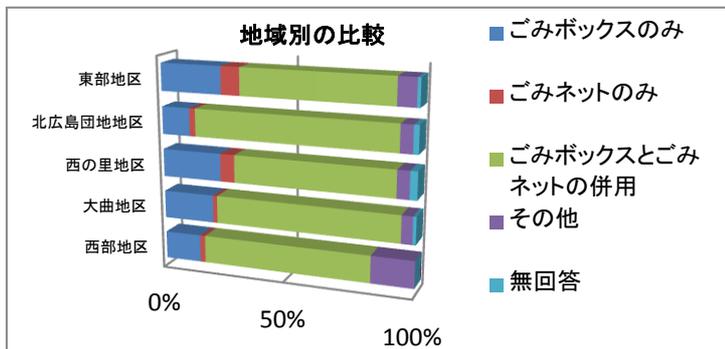
【問11】 あなたが利用しているごみステーションはどのような形態ですか。  
1つだけ選んでください。

No.	回答項目	回答数	割合	前回アンケート結果
1	ごみボックスのみ	177	18.3%	10.7%
2	ごみネットのみ	39	4.0%	31.6%
3	ごみボックスとごみネットの併用	681	70.3%	49.3%
4	その他	56	5.8%	7.3%
5	無回答	16	1.7%	1.1%
合計		969	100.0%	100.0%



ごみステーションの形態では、「ごみボックスとネットの併用」が最も多く、次に「ごみボックスのみ」との回答結果となっています。ごみボックスのみ、ごみボックスとネットの併用を合わせると88.6%となっており、前回アンケートでは60.0%であったことから、28.6%上昇しています。市の助成制度等を利用し、ごみボックスを新たに整備したものと考えられます。

#### 【居住地域別に見るごみステーションの形態】

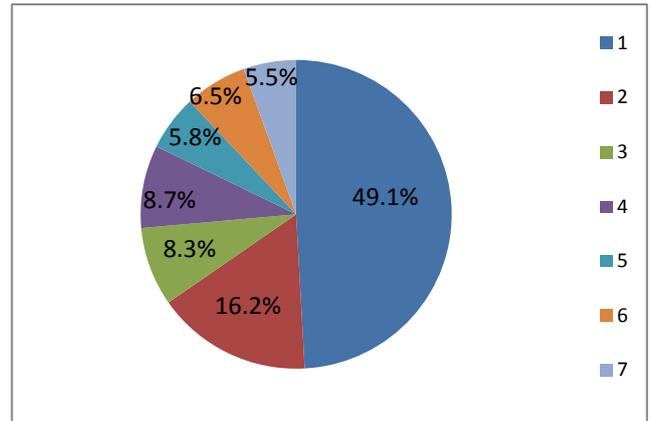


地域別の割合で見ると、「ごみボックスのみ」は東部地区、西の里地区が最も多く、「ごみボックスとネットの併用」は北広島団地地区、大曲地区が最も多い結果となっています。

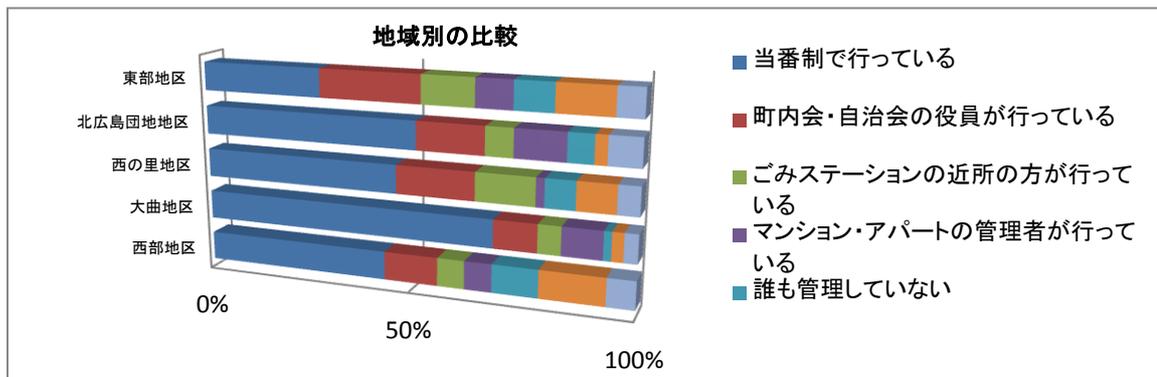
【問 1 2】 ごみステーションの管理はどなたがされていますか。  
1つだけ選んでください。

No.	回答項目	回答数	割合	前回アンケート結果
1	当番制で行っている	476	49.1%	46.3%
2	町内会・自治会の役員が行っている	157	16.2%	13.8%
3	ごみステーションの近所の方が行っている	80	8.3%	10.4%
4	マンション・アパートの管理者が行っている	84	8.7%	8.8%
5	誰も管理していない	56	5.8%	8.8%
6	その他	63	6.5%	8.0%
7	無回答	53	5.5%	4.1%
合計		969	100.0%	100.0%

ごみステーションの管理については、「当番制で行っている」が最も多い結果となっています。  
その他としては、「気がついた人が掃除している」「分からない」などがありました。



【居住地域別に見るごみステーションの管理】

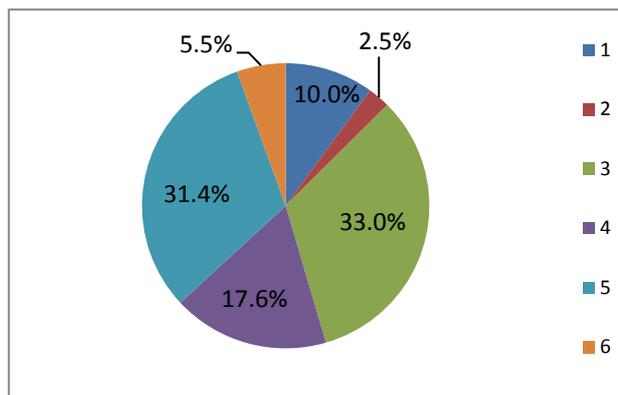


地域別に見ても、各地区で「当番制で行っている」が最も多い結果となっています。

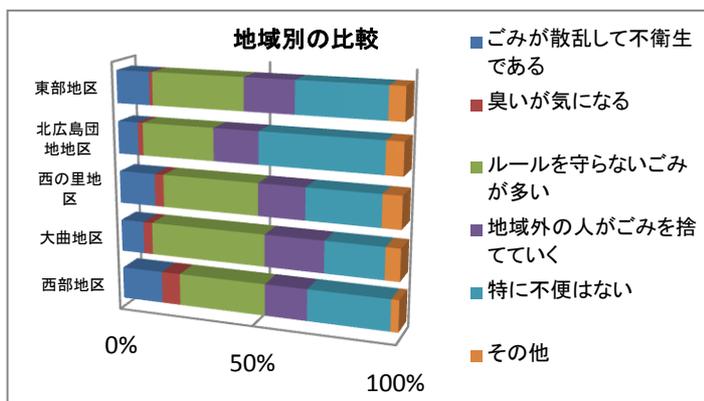
【問13】 現在のごみステーション方式の収集についてどう思いますか。  
2つだけ選んでください。

No.	回答項目	回答数	割合
1	ごみが散乱して不衛生である	133	10.0%
2	臭いが気になる	33	2.5%
3	ルールを守らないごみが多い	438	33.0%
4	地域外の人がごみを捨てていく	234	17.6%
5	特に不便はない	417	31.4%
6	その他	73	5.5%
合計		1328	100.0%

現在のごみステーション方式の収集については、「ルールを守らないごみが多い」が最も多い結果となり、「特に不便はない」が2番目に多い結果となっています。

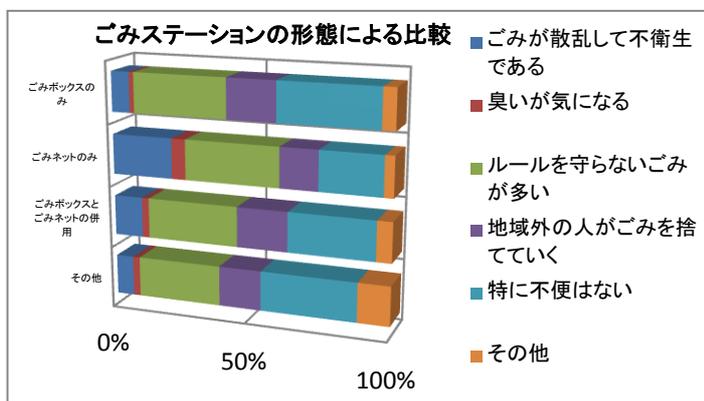


【居住地域別に見るごみステーション方式での収集について】



地域別に見ると、「ルールを守らないごみが多い」が大曲地区41.5%・西の里地区34.4%・東部地区32.9%・西部地区31.5%・北広島団地地区26.0%となっており、北広島団地地区では「特に不便はない」が最も多い結果となっています。

【ごみステーションの形態別に見るごみステーション方式での収集について】

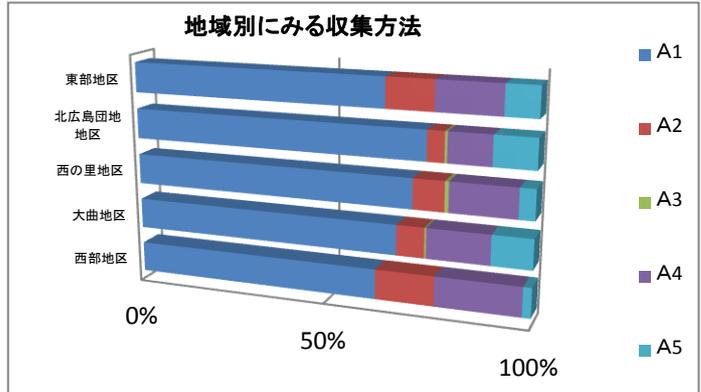
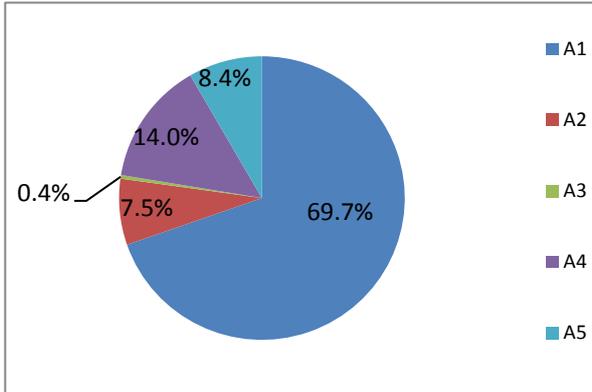


ごみステーションの形態別に最も多い割合を見ると、「ごみボックスのみ」では「特に不便がない(35.6%)」、「ごみネットのみ」では「ルールを守らないごみが多い(33.9%)」、「ごみボックスとごみネットの併用」では「ルール守らないごみが多い(32.9%)」、「その他」では「特に不便はない(34.2%)」となっています。

市ではごみの収集方法（戸別収集）について検討を行っています。現在の収集方法についてどう思いますか。  
**【問14】** ≪戸別収集を実施している近隣都市では分別品目及び収集回数は当市より少ないですが、約3億円の費用がかかっています。（平成25年度北広島市の収集運搬費：年間1億6千万円）≫

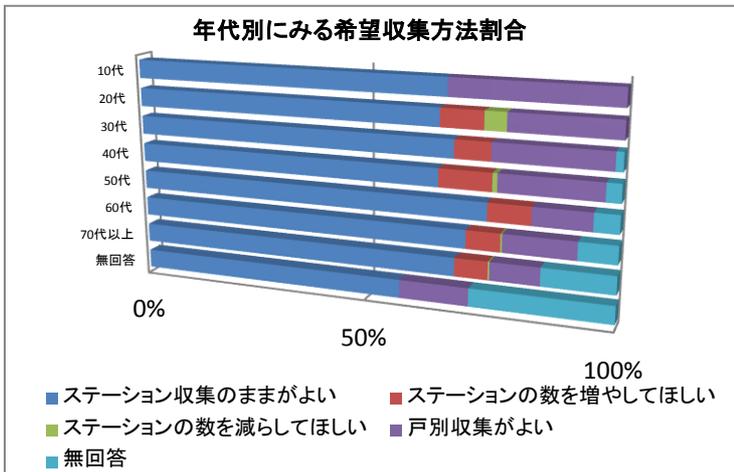
● ① 収集方法

No.	回答項目	回答数	割合	前回アンケート結果
A1	ごみステーション収集のままでよい	675	69.7%	68.8%
A2	ごみステーションの数を増やして、1ヶ所あたりの利用世帯数を少なくしたほうがよい	73	7.5%	6.4%
A3	ごみステーションの数を減らして、1ヶ所あたりの利用世帯数を増やしたほうがよい	4	0.4%	1.4%
A4	玄関前（アパート・マンションは棟ごと）からの収集がよい（戸別収集）	136	14.0%	13.8%
A5	無回答	81	8.4%	9.6%
合計		969	100.0%	100.0%



収集方法について、「ごみステーション収集のままでよい」との回答は69.7%と多い結果となりました。全体で見ても、前回のアンケート結果と大きく異なることはありませんでした。収集方法について地域別に見ると、東部地区では「ごみステーション収集のままでよい」が64.6%、「玄関前（アパート・マンションは棟ごと）からの収集がよい（戸別収集）」が15.8%となっています。北広島団地地区では「ごみステーション収集のままでよい」が74.6%、「玄関前（アパート・マンションは棟ごと）からの収集がよい（戸別収集）」が10.4%となっています。西の里地区では「ごみステーション収集のままでよい」が71.4%、「玄関前（アパート・マンションは棟ごと）からの収集がよい（戸別収集）」が16.2%となっています。大曲地区では「ごみステーション収集のままでよい」が67.7%、「玄関前（アパート・マンションは棟ごと）からの収集がよい（戸別収集）」が15.3%となっています。西部地区では「ごみステーション収集のままでよい」が62.5%、「玄関前（アパート・マンションは棟ごと）からの収集がよい（戸別収集）」が20.8%となっています。

【年代別にみる希望収集方法割合】

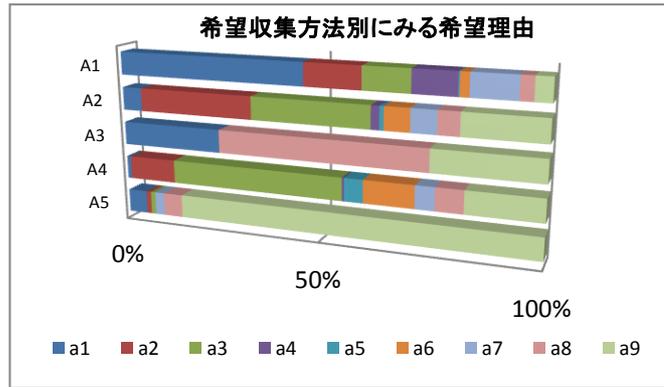
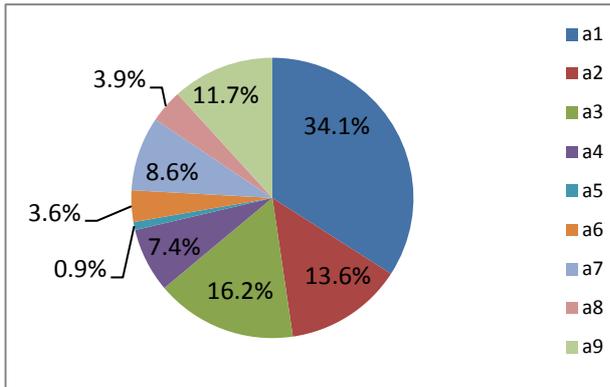


収集方法について、各年代別にみると、戸別収集がよいと答えた割合が10代では33.3%、20代では21.7%、30代では23.2%、40代では20.4%と比較的高い割合となっています。一方で、50代では11.7%、60代では14.5%、70代以上では10.0%と低い割合となっています。高齢化に伴いステーション収集ではなく戸別収集を希望する割合が増加することも考えられましたが、前回アンケート結果と同様に、高齢世代ほど必ずしも戸別収集を希望しているわけではないという結果となっています。理由としては、高齢世代ほど生ごみ等の分別を適切に行っている傾向があることから、不適正排出にともなうステーション収集についてのトラブルが少ないこと、収集経費増加に対する憂慮が考えられます。

	年代						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
各年代で戸別収集がよいとした割合	33.3%	21.7%	23.2%	20.4%	11.7%	14.5%	10.0%

● ② 理由

No.	回答項目	回答数	割合
a1	収集経費を抑えることができるから	478	34.1%
a2	ごみを出すのに便利だから	190	13.6%
a3	ごみ出しルールを守るようになるから	227	16.2%
a4	家の前にごみを置きたくないから	104	7.4%
a5	ごみステーションのそばだと不公平だから	13	0.9%
a6	ごみステーションの管理が大変だから	51	3.6%
a7	カラスなどに荒らされるから	120	8.6%
a8	その他	54	3.9%
a9	無回答	164	11.7%
合計		1401	100.0%



【希望収集方法別にみる希望理由】

問14②	理由												
	a1		a2		a3		a4		a5		a6		
問14①	収集経費を抑えることができるから		ごみを出すのに便利だから		ごみ出しルールを守るようになるから		家の前にごみを置きたくないから		ごみステーションのそばだと不公平だから		ごみステーションの管理が大変だから		
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
A1	ステーション収集のまま	466	46.2%	136	13.5%	111	11.0%	101	10.0%	3	0.3%	21	2.1%
A2	ステーション増	5	4.9%	29	28.4%	29	28.4%	2	2.0%	1	1.0%	6	5.9%
A3	ステーション減	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
A4	戸別収集	2	1.0%	24	11.8%	86	42.4%	1	0.5%	9	4.4%	24	11.8%
A5	無回答	4	4.8%	1	1.2%	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	理由												
		a7		a8		a9		合計					
	カラスなどに荒らされるから			その他		無回答							
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合			
		103	10.2%	30	3.0%	38	3.8%	1009	100%				
		6	5.9%	5	4.9%	19	18.6%	102	100%				
		0	0.0%	2	50.0%	1	25.0%	4	100%				
		9	4.4%	13	6.4%	35	17.2%	203	100%				
		2	2.4%	4	4.8%	71	85.5%	83	100%				
								1401					

収集方法の69.7%を占める「ごみステーション収集のままでよい」を選んだ理由としては「収集経費を抑えることができるから」が最も多く、次いで「ごみを出すのに便利だから」となっています。

収集方法ごとの理由を見てみると、「ごみステーションの数を増やして、1ヶ所あたりの利用世帯数を少なくしたほうが良い」では「ごみを出すのに便利だから」「ごみ出しルールを守るようになるから」が最も多い結果となり、「ごみステーションの数を減らして、1ヶ所あたりの利用世帯数を増やしたほうが良い」では「ごみ出しルールを守るようになるから」が最も多い結果となっています。

理由の「その他」としては、「戸別収集だと冬の積雪のあるときには、手間がかかって業者が大変だと思う」「戸別収集だと個人の差が出て汚いところが目につくと思うし、汚さないためにそれぞれがいろんな物を置いたりして見た目も汚くなると思う」「カラスなどに荒らされても、個人の管理になるので良いと思います」などでした。

③ 戸別収集を実施している近隣都市では、約3億円の費用がかかっています。当市で戸別収集を行う際にもそれに近い費用がかかると思いますが、費用の負担についてどう思いますか。1つだけ選んでください。

No.	回答項目	回答数	割合	前回アンケート結果
1	個人負担（ごみ処理手数料の値上げ）が増えても戸別収集すべき	30	3.1%	1.8%
2	戸別収集になるなら個人負担（ごみ処理手数料の値上げ）も止むを得ない	96	9.9%	7.3%
3	戸別収集にかかる経費は市（税金）で負担すべき	69	7.1%	5.4%
4	収集回数を減らすなど経費を抑えて戸別収集にすべき	52	5.4%	6.3%
5	ごみ収集に係る経費が今以上にかかるのであればごみステーション収集でよい	612	63.2%	69.5%
6	その他	16	1.7%	1.4%
7	無回答	94	9.7%	8.4%
合計		969	100.0%	100.0%

収集費用の負担については、63.2%が「ごみ収集に係る経費が今以上にかかるのであればごみステーション収集でよい」との回答でした。前回アンケート結果と比較して大きく異なるところはないものの、「個人負担（ごみ処理手数料の値上げ）が増えても戸別収集すべき」と「戸別収集になるなら個人負担（ごみ処理手数料の値上げ）も止むを得ない」を合わせた前回のアンケート結果は、9.1%でしたが今回は13.0%と4ポイント上昇しています。

